

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	姉妹都市交流促進事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費	会計	一般会計	事業コード	130112	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020702	施策名	多様な文化交流を推進する								
	開始年度	昭和58年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	行政間だけの交流にとどまることなく、市民ぐるみで人・物の交流を促進し、島原市との友好の絆を深める												
	対象者	市民ほか	対象者数		単位あたりコスト									
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()												
	委託先・実施主体等													
	事業概要	福知山マラソン会場において「島原物産展」を開催 「提携記念日行事(巡回パネル展等)」の実施 スイーツフェスティバル等イベントでの島原物産展の開催												
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費(見込値)					
		需用費	マラソン会場「島原物産展」具雑煮提供の材料費他						96					
使用料及び賃借料		具雑煮調理ガスコンロ使用料						6						
関連事業	姉妹都市友好親善市民交流事業													

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額							
	配当 予算	①当初	258	258	183	199							
		②補正予算			0								
		③流充用額	0	△ 62	0								
		④繰越額計	0	0	0	0							
	前年度繰越												
		次年度繰越											
	財源内訳 (①③④内訳)	一般財源	258	196	183	199							
		国支出金	0	0	0	0							
		府支出金	0	0	0	0							
		地方債	0	0	0	0							
		その他特財	0	0	0	0							
		主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁		
		特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁			
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.28/0	0.28 / 0	0.16 / 0	0.16 / 0							
⑤概算人件費		2,240	2,240	1,280	1,280								
⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)		2,498	2,436	1,463	1,479								
⑦執行額		107	150	102									
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		41.5%	76.5%	55.7%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		物産展来場者	人	3000 / 3000	2000 / 3000	3000 / 3000	/	3000
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		物産展等の開催	回	5 / 5	3 / 5	3 / 5	/	5
		単位あたりコスト		21.4	50.0	34.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	姉妹都市締結に基づき相互の理解や友好を深めながら実施・継続してきた事業である。今後もこの絆を守り継続していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率よく有効に事業が実施できるよう、島原市からの協力を得ている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	継続して実施していることから、物産展等で販売する島原市の特産品は好評である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		物産展での販売状況から交流事業も定着しているように思われる。さらに人や物を介して友好交流を内外に発信する機会を考える必要がある。	
今後の課題及び方向性		島原市との姉妹都市提携は、当時の市民の熱い思いのもと結ばれたものであり、現在も市内各種団体による相互交流が続けられている。一部の限られた人々の交流に留まることのないよう、市民に姉妹都市島原市への愛着と友好の思いを持ってもらえるような事業展開をすることが課題である。現在、物産展やパネル展等を実施しているが、市民ぐるみの友好交流を進めていくために、行政が果たす役割を考えなければならない。事業の中で、姉妹都市島原市に興味と愛着を持っていただくための見せ方、「PR」方法に工夫を凝らしていきたい。	

庁内及び外部による評価	所見	
	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

外部による評価(棚卸し評価)	所見	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	姉妹都市友好親善市民交流事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費	会計	一般会計	事業コード	130113	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020702	施策名	多様な文化交流を推進する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	姉妹都市・島原市との継続的な交流を促進し、両市の友好の絆を深める。			
	対象者	市民	対象者数	-	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
	委託先・実施主体等				
	事業概要	姉妹都市提携5周年ごとに相互を訪問し交流を深めている。 平成30年度は、姉妹都市提携35周年を記念し、福知山市から応募等による市民訪問団が島原市を訪問した。島原市では歓迎セレモニー、市民交流会が催され、両市民の交流を図るとともに「雲仙普賢岳噴火災害犠牲者追悼之碑」及び「雲仙岳災害記念館」等を訪れ、島原市の歴史、風土に触れながらまちの魅力を体感した。			
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)	
	旅費	職員旅費	310		
	需用費	交流会参加島原市民手土産、「青い目の人形」衣装	257		
	役務費	目録筆耕、「青い目の人形」フェリー運搬	47		
	使用料	「青い目の人形」運搬高速道路使用料	14		
	負担金補助	参加者助成	280		
関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			794	0	
		②補正予算			114		
		③流充用額					
		④繰越額計			0	0	
		前年度繰越					
		次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)	一般財源			908	0	
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)		/	0.25 / 0	0.25 / 0	
⑤概算人件費				2,000	2,000		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)				2,908	2,000		
⑦執行額				908			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)				100.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数	人			56/80	/	
							/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		周知件数	回			10/5	/	
		単位あたりコスト				90.8	/	
	単位あたりコスト					/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	姉妹都市提携に基づく交流事業である。 継続して実施していることから、交流を通じて育まれてきた絆は、これからも引き継いでいかなければならない。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な事業実施に向け、島原市との連携を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	両市に残る青い目の人形を活用し、新たな友好親善交流を図ることができた。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	姉妹都市提携35周年を祝うシンボルとして本市に残る青い目の人形を特別友好親善大使に任命し、島原市へ同行させるなど、新たな友好親善交流の情報発信につとめた。市民が姉妹都市への関心や興味をもつ交流を島原市と連携を図りながら取り組んでいかなければならない。			
今後の課題及び方向性	幅広い世代から参加が得られるよう事業周知に工夫をこらしていかなければならない。 補助金の有無が市民の参加決定に影響を与えほどの効果は少ないことから補助金の支給を廃止する検討も視野に入れる必要がある。			

		所見
庁内及び外部による評価 (行革担当課記入)	二次評価 (庁内評価)	

		所見
三次評価 (外部評価)	三次評価 (外部評価)	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	ふるさと納税推進事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費	会計	一般会計	事業コード	810560	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	070102	施策名	持続可能な財政基盤を構築する								
	開始年度	平成20年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	第6次行政改革実施計画No85											
	根拠法令等	地方税法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	ふるさと納税制度を活用して全国に福知山市を情報発信し、本市と本市産品の知名度を向上させるとともに、ふるさと納税寄附の拡大を図る。あわせて、本市に関心を持ってもらえる人を増やす。										
	対象者	市外の給与所得者等	対象者数	—	単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	株式会社 さとふる、株式会社 JTB京都中央支店福知山営業所										
	事業概要	ふるさと納税サイト運営事業者に業務を委託することにより、広く福知山をPRするとともに全国から寄附を募る。寄附者には返礼品を送付し、確定申告に関する証明書を送付する。平成30年度からふるさと納税サイトを追加し寄附者に福知山市のふるさと納税の情報発信と寄附拡大を目指す。受け入れた寄附金は、ふるさと納税基金に積立を行うなど、後年度の財政運営に活用する。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)					
	積立金	基金積立金				80,140						
	報償費	返礼品の調達と送付				25,529						
	委託料	ふるさと納税業務委託分(受付、収納、証明発行等)				9,851						
	その他事務経費	チラシ作成、用紙代など				1,341						
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	7,983	221,779	208,982	206,539	
	②補正予算			0		
	③流充用額	77,637	△ 221	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	85,620	91,558	76,622	76,197	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	130,000	132,360	130,342	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.28/0	0.42 / 0	0.63 / 0.5	0.63 / 0.5	
⑤概算人件費		2,240	3,360	6,290	6,290	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		87,860	224,918	215,272	212,829	
⑦執行額		69,667	153,687	116,861	0	
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)		81.4%	69.4%	55.9%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ふるさと納税収納額	千円	113,365/130,000	105,877/130,000	95,282/130,000	/	130000
		(寄附額/目標額)達成率%	%	87.2	81.5	73.3%	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		寄附件数(実績)	件	10718	8233	5820	/	8600
		単位あたりコスト		6.5	18.7	20.1		20
	ふるさと納税サイト活用件数	件	1/1	1/1	2/2	/	3	
	単位あたりコスト		69667.0	153687.0	55990.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・総務省が返礼品の割合を3割以内にするよう要請しており、やや機運に水を差された感があるが、本市の知名度を向上させる意味から積極的に取り組むべきである。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・収納から返礼品送付までの一連の業務を外部委託したことでコストは発生するが、ITインフラに勝る民間のノウハウなくして1万件以上の寄附に対応することはできない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	民間の活用は、先行団体団体より遅れたが、府内でも寄附件数が多い自治体に入っており、一定効果があった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成28年度に民間事業者(さとふる)の活用により寄附者がアクセスしやすい環境整備をしたことで寄附件数、寄附額とも一定数を確保できている。第6次行革実施計画では、平成28年から平成32年までに一般財源ベースで46,571千円確保する目標であったが、平成29年度で達成している。平成29年度は企業版さとふると納税を実施した結果、企業訪問により1社から寄附実績があった。また返礼品を送付することで、市内事業者への経済効果もあった。平成30年度はガバメント・クラウド・ファンディングにも取り組んだ。		
	今後の課題及び方向性	本市のさとふる納税の魅力を発信していくため、さとふる納税サイトを活用したことで、寄附額及び寄附が伸びたことは一定評価できる。一方で返礼品を取扱う市内事業者からは、本来の事業に加え、さとふる納税の返礼品対応が負担との意見もある。返礼品の取扱いについて今後事業者と協議を重ねつつ、また寄附者には魅力ある返礼品を提供していくことで、継続的に福知山市を選んでもらえる仕組みの構築が課題。平成31年度以降は事業統合を行いさとふるサポーター拡大事業として、さとふる納税寄附者をきっかけとした関係人口の拡大を目指す事業とする。		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	広報一般管理事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820105	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	昭和63年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市の広報媒体に限らず、報道機関(新聞、テレビ、ラジオ)への露出を増やし、市民の暮らしにかかわりの深い事柄や生涯学習、健康、福祉等の催事についての行政情報を確実に市民に伝える。										
	対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	-	単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	施政方針や主要事業の実施状況、懸案事項、議案概要など重要で詳細な説明が必要な案件について、市長記者会見や記者レクチャーを開催し、市政記者クラブなどの報道機関を通じて市民等に広報する。また、市政記者クラブなど報道機関への広報カードの提供により、本市の活動、制度、催事を宣伝する。さらには、災害など有事の際に、報道機関に迅速・的確な情報提供を行うことで、テレビ・新聞紙面等を通じて、市民へ必要な情報を伝達する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
旅費		京都府広報協議会ほか					85					
需用費		各紙新聞購読料ほか					444					
役務費		電話料					160					
備品購入費		外付けハードディスク購入					22					
負担金補助及び交付金		日本広報協会ほか負担金					34					
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	1,213	674	660	605	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 47	△ 48	85		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	1,166	626	745	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	605	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	1.28/0	0.94 / 0	1.06 /	1.06 / 0	
⑤概算人件費		10,240	7,520	8,480	8,480	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		11,453	8,146	9,225	9,085	
⑦執行額		605	604	745		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		51.9%	96.5%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		福知山市名の新聞掲載件数(両面除く)	件	5,441/4,500	6,383/4,500	5,500/5,500	/	5,500
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		記者会見・記者レク案件数	件	23 / 25	37 / 25	45 / 25	/	25
			単位あたりコスト	26.3	16.3	16.6		
広報カード発信件数(投入資料等除く)		件	2,189/1,800	2,066/1,800	2,026/2,200	/	2,200	
	単位あたりコスト	0.3	0.3	0.3				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	行政情報を報道機関を通じて発信し、市民と行政が情報を共有したり、市政を広くPRするために必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	報道機関を通じての情報発信は、記者会見や広報カードの資料の作成費用やその人件費であるため、コスト面では非常に効率的である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	広く市政情報を伝達する手段として、報道機関への情報提供は非常に有効なものである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		報道機関を通じた情報発信は、速報性や経済性に優れ市民への浸透性も高いといった特性がある。報道するかどうかの決定権は常に報道機関側にあるが、今後においても積極的にタイミングを意識した公表に努めていく。更に記者の目に止まりやすく、記事や番組で取上げてもらいやすいアピール度の高い資料を作成するなどの工夫を行うとともに、日頃から報道機関との良好な関係構築に努める。	
今後の課題及び方向性		行政からの一方的なお知らせにならないよう、効果的な情報発信方法であるパブリックリレーションズの考えに基づいた発信が市全体で行えるよう、研修などを通じて職員の意識を高めるなどの取組みを継続していく必要がある。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

一次評価(担当課による自己評価)

庁内及び外部による評価(棚卸し評価)

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	広報ふくちやま発行事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820106	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	昭和63年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の暮らしに役立つ広報誌として、市政情報などをお知らせし理解や協力を得るほか、行政からの一方的な情報提供にとどまらず、市民生活の様子や、地域づくりに積極的に取り組んでいる団体やグループ、個人などにもスポットを当てて掲載し、市民参加の機会を増やす。										
	対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	-	単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	岩見印刷(株)										
	事業概要	毎月1回32,900部を発行し、市内全世帯に自治会長文書により各戸配布した。広報誌をデジタル化し、市のホームページ等でも掲載している。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		報償費	広報ふくちやま記事作成にかかる謝礼							22		
旅費		出張旅費							45			
需用費		広報ふくちやま発行経費ほか							11,391			
役務費		広報ふくちやま関係機関郵送料など							192			
関連事業												

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	11,217	11,922	11,907	14,310
	②補正予算			0	
	③流充用額	0	△ 218	△ 78	
	④繰越額計	0	0	0	0
	前年度繰越		0	0	0
	次年度繰越		0	0	0
予算と執行の状況 財源内訳(①③④内訳)	一般財源	10,850	11,270	11,382	13,399
	国支出金	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	367	434	447	911
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	0.82/0	0.82 / 0	0.95 / 0	0.95 / 0	
⑤概算人件費	6,560	6,560	7,600	7,600	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	17,777	18,264	19,429	21,910	
⑦執行額	11,200	11,583	11,650		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	99.8%	99.0%	98.5%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		毎号読んでいる割合(アンケート調査)	%		65/65	60/66	65/67	/
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込		指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		発行部数(月単位)	冊	32,900/32,900	32,900/32,900	32,900/32,900	/	34,000
		単位あたりコスト		0.3	0.4	0.4		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の暮らしにかかわりの深い事柄や生涯学習、健康、福祉等の催事についての行政情報を市民に伝えるために必要である。また、単なる情報のお知らせではなく、「このまちをもっと好きになる」をテーマに、市が市民に伝えたいこと、知ってほしいこと、考えてほしいことを題材に行政施策への理解と市民参加を促すきっかけとして重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	市からのお知らせを広報誌に集約することで、各部署の業務の省力化やコストの削減に努めている。また、有料広告の掲載により、広報誌発行の財源確保に努めている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市民にきめ細かく市政の情報を伝達する手段として非常に有効なものである。また、編集においては他自治体の広報誌を分析しながら、市民が読みたくするような紙面づくりを重視している。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>毎年度1回実施する広報アンケートの結果では、「毎月読んでいます」と答えた人が65%超となっている。</p> <p>また、「広報ふくちやまが読みやすいか」という設問に対し、「読みやすい、まあまあ読みやすい」と答えた人は58.9%。また、「広報ふくちやまがおもしろい、興味深いか」という設問に対し、「おもしろい、まあまあおもしろい」と答えた人は68.4%となっており、さらに記事ごとの評価でも、リニューアルした平成29年から戦略的に展開している「特集記事」と「福知山トピックス」が平成30年度のアンケートではそれぞれ1、2位の人気となっている。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>まだ高齢の読者が多いなか、若年層が開けてみたくなる内容や仕掛けを心がける。</p> <p>また、ホームページともSNSとも異なる、紙媒体だからできることを研究し、施策や活動への参加のきっかけづくりを目指す。</p> <p>オープンデータ化し、ホームページでウェブブック化しているほか、民間事業者が運営する情報サイト「KYOTO eBOOKS」「マチイロ」「マイ広報誌」でも掲載し、PCやスマートフォンなどから広報を見てもらえるよう展開しているが、引き続き、どこでも広報を読んでもらえる環境を整えようととも、SNSやホームページ、シティプロモーション活動などと連携させ、多面的な情報発信を目指す。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
来年度方針 担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	ホームページ運営事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820107	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	平成13年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	本市のリアルタイムな情報を発信し、市民サービスを充実するとともに、本市の魅力を広くPRする。さらには、災害など有事の際に、迅速、的確な情報を伝えることで、市民の安心・安全な暮らしを確保する。										
	対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	-	単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等	(株)日本出版、福泉(株)										
	事業概要	ホームページを通じて、積極的に市政、観光、イベントなどの情報を市民や全国に向け発信し、本市、市政に対する理解と周知を図っている。また、情報の鮮度を保ち、タイムリーな更新を行うことでウェブサイト訪問者の定着・訪問頻度の増加を目指している。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容								H30経費(見込値)	
		役務費	SNS更新用タブレットの通信費								71	
委託料		ホームページ運営保守管理業務								770		
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,055	839	834	839	
	②補正予算			0		
	③流充用額	17	9	7		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳	1,433	225	218	0	
	一般財源					
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	639	623	623	839	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.55/0	0.39 / 0	0.47 /	0.47 / 0		
⑤概算人件費	4,400	3,120	3,760	3,760		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	6,472	3,968	4,601	4,599		
⑦執行額	2,072	848	841			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		アクセス件数(月平均)	件	74,681/80,000	81,606/80,000	88,292/80,000	/	80,000
			件	0	0	0	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		掲載件数	件	712/900	943/900	900/900	/	900
		単位あたりコスト		2.9	0.9	0.9		
			/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市の情報・魅力を全国発信することができ、災害発生など緊急時には、迅速、的確に情報を市民に伝えるための必要不可欠な情報伝達手段となっている。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	専門的な保守点検管理業務を委託することで、システム障害の回避や常時の動作確認、新コンテンツの作成にかかる人件費を抑制している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	ホームページを運用することで、タイムリーな市政情報を地域を限定することなく広く発信し、PRすることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		平成31年2月28日にホームページをリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報発信できる環境を整備した。また、災害時には専用のトップページに切り替え、アクセスが集中しても継続して情報発信することが可能となった。	
今後の課題及び方向性		インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要である。ホームページリニューアルにより、各所属で情報の更新を行える体制を構築した。市職員全てが情報発信者となって、市民、全国、世界の方々へタイムリーな話題を提供していくことが重要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

来年度方針

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	市政案内事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820109	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	昭和63年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	広域的な情報発信の手段であるテレビ・ラジオ・新聞広告などを活用し、市民等に細やかで丁寧な情報提供を行うことで、福知山市政への理解と信頼を深める。		
	対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	-
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	委託先・実施主体等	FM丹波		
	事業概要	ラジオなどの広報や、自治会で市政の周知広報物や自治会運営を円滑にするために活用できる広報掲示板の設置によりきめ細かな広報を行う。		
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
		需用費	広報掲示板の修繕費用(3件)	112
役務費		市政情報放送業務ほか	1,368	
関連事業				

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	4,507	1,480	1,480	1,448	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	105	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	4,507	1,585	1,480	1,448	
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他特財	0	0	0		
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.09/0	0.07 / 0	0.06 /	0.06 / 0		
⑤概算人件費	720	560	480	480		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	5,227	2,145	1,960	1,928		
⑦執行額	4,403	1,585	1,480			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	97.7%	100.0%	100.0%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		テレビ放送「四季の福知山」放送(毎週1回3分)	回	52 / 52	-	-	/	0
		単位あたりコスト		84.7	-	-		
		FM放送「市政情報」(月から金曜日週5日)	回	522/522	522/522	261/261	/	261
単位あたりコスト		8.4	3.0	5.7				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	ラジオなどメディアを通じ広報することは、広く市民や市内外の人に市政情報を届けることにつながり、市民と情報を共有するための手段のひとつとして必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	業務を専門業者に任せることで、効果的・効率的で精度の高い広報となり得る。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	ラジオなどメディアを通じた広報は、市民にきめ細かく市政の情報を伝達する手段として非常に有効なものである。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			ラジオや自治会に設置してある広報掲示板、新聞広告などにより、市民にきめ細かく市政の情報を伝達する非常に有効な手段であり、今後も広くPRしていく必要がある。 市民への情報提供手段の一つとして、ラジオを活用し、市内の不特定多数の方に市政情報をほぼ毎日(土日除く)発信する体制整備ができてい。また、契約しているFM丹波においてラジオ放送だけでなく、独自のホームページやSNS(フェイスブックやツイッター)での情報提供もあわせて実施いただいており、市民の方だけでなく、不特定多数の方が市政情報を取得することが可能となっている。(定性的評価)
今後の課題及び方向性			広報掲示板を設置している自治会に、活用状況についてアンケートを実施した結果、今後も活用すると回答された自治会が約80%であったことから、今後も引き続き、各自治会に応じた活用を行う。また、市行政情報の掲示回数が少ないことから、利用回数の増加を図る。

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	ふるさと市民制度推進事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820128	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	平成29年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市に愛着と興味を抱いている方に「ふくちファンクラブ」会員に登録してもらう「ふるさと市民制度」を実施。会員には広報誌や観光パンフレットなど本市の旬の話題や魅力を発信するとともに、市内の観光・宿泊施設、飲食店等の優待特典を提供し、市内施設やイベントに訪れていただく。自身の得意分野で福知山の魅力を市外でアピールしていただくことにより、今後の関係人口の拡大を図る。										
	対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	-	単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	①広報ふくちやま4半期ごと送付 ②会員が優待を受けることのできる施設を募集し会員に利用券として送付										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
	需用費	会員への送付する広報誌の印刷代					157					
	役務費	会員への郵送代					131					
	使用料及び賃借料	会員施設入場料					15					
	関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	0	438	401	0	
		②補正予算					
		③流充用額	0	△ 153			
		④繰越額計	0	0	0	0	
		前年度繰越					
		次年度繰越					
	財源内訳 (①④内訳)	一般財源	0	285	401	0	
		国支出金	0	0			
		府支出金	0	0			
		地方債	0	0			
		その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0/0	0.1 / 0	0.15 / 0.15	0.15 / 0.15		
⑤概算人件費	0	800	1,575	1,575			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	1,085	1,976	1,575			
⑦執行額	0	78	303				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	-	27.4%	75.6%				

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		会員登録者数	人	-	250/500	275/500	/	1,000
		優待施設利用者数	人	/	0/50	/50	/	100
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		優待施設協力件数	件	/	24/20	24/30	/	30
		単位あたりコスト		-	3.3	12.6		
会員募集に関する情報提供回数	回	/	3/10	5/10	/	10		
単位あたりコスト		-	26.0	60.6				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	関係人口拡大に向けた取り組みとしてはこうした会員募集は必要であるが、募集方法、会員に対する行動依頼など目的や達成手段については不十分
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	入会料や広報ふくちやまの送付は無料としている。会員による福知山市の宣伝効果が薄い。本市に対してどのような関わりをしているか現状分析にアンケートも実施したが回答数が低く効果が期待できない。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	会員を増やし、全国各地から得意分野で本市を応援していただくことにより、関係人口拡大が期待できる
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価			市内優待施設協力者を増やし、会員募集時にインセンティブを与えることによって、会員を増やしていくことを目的としていたが、平成30年度末の状況は民間の優待券が使用されていない。単に、福知山出身者で構成されている団体会員中心の勧誘では、会員拡大に繋がっていない状況。平成30年度末の会員達成が困難。事業棚卸しの意見も踏まえ事業統合を図る。
今後の課題及び方向性			現在は、市出身者の団体を中心に会員登録のための活動を行っている。今後は福知山市出身以外の方に対して、登録者数を増やす取り組みとなる事業を行う。福知山市に訪れなくとも間接的に福知山を応援できるふるさと納税制度との事業統合を行うことで、会員拡大と双方向の情報交換となるような仕組みとする。

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	ホームページリニューアル事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820129	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	見やすく、知りたい情報にたどり着きやすいホームページにリニューアルし、今まで以上に利用者の利便性の向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報を発信する。					
	対象者	市民・不特定多数の人々	対象者数	-	単位あたりコスト		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	福泉(株)					
	事業概要	ホームページリニューアルで次の項目を実施 ○見やすく、使いやすい対策：情報分類を再整理し、知りたい情報を探しやすくする。災害発生時などの緊急情報をより快適に情報発信する。高齢者にも使いやすい検索、文字拡大機能等を充実 ○安全安心対策：京都自治体情報セキュリティクラウド内で市HPを管理運営 ○情報のバリアフリー化：ウェブアクセシビリティの向上、スマートフォン、タブレット端末などへの自動対応、外国語対応(8カ国) ○事務効率向上、経費削減：各担当部局でのHP更新、AIが操作レクチャーを実施、HP集約化でコスト削減					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	報償費	HPリニューアルプロポーザル審査会にかかる委員謝礼			20		
	委託料	HPリニューアル業務委託			9,904		
	関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初			12,015	0	
		②補正予算			0		
		③流充用額			△ 22		
		④繰越額計			0	0	
	財源内訳(①③④内訳)	前年度繰越		0	0	0	
		次年度繰越		0	0	0	
		一般財源			△ 7	0	
		国支出金			0		
		府支出金			6,000		
		地方債			0		
	その他特財			6,000			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)		/	0.51 /	0.51 / 0	
⑤概算人件費				4,080	4,080		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)				16,073	4,080		
⑦執行額				9,924			
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)				82.7%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		アクセス件数					/	80000
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		ホームページリニューアル	回	-	-	1 / 1	/	1
		単位あたりコスト				9924.0		
		単位あたりコスト					/	

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	前回平成23年にリニューアルし、約8年が経過する中でスマートフォンやタブレットなどの閲覧環境の変化やニーズの多様化により現環境では対応しきれない状況となっている。そのため、ウェブアクセスの向上、セキュリティの向上など、HP環境を整備し、利用者の利便性、福知山市の情報発信強化を図る。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	公募型プロポーザルを実施し、コスト軽減だけでなく、利用者にとって利便性の高いもの、作業する職員の事務効率も判定し、業者選定を行い、リニューアルを実施した。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	ホームページをリニューアルすることで、タイムリーな市政情報を、地域を限定することなく広く発信し、PRすることができる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		ホームページリニューアルにより、今まで以上に利用者の利便性向上と事務の効率化を図り、広く市内外に本市の情報を発信する環境を整備した。さらに、本サイトとは独立したデザインや構成を持つ「特設サイト」、○市民参加型シティプロモーションサイト「いがいと！福知山」、○子育て情報を詰め込んだ専用サイト「ふくちやま子育て応援サイト」、○2020年大河ドラマ「麒麟がくる」関連企画サイト「知られざる「明智光秀」を訪ねて」、○福知山市の魅力たっぷりな観光情報が満載「福知山市観光情報サイト」を開設し、福知山市の魅力等の発信力を強化した。	
今後の課題及び方向性		インターネット上での福知山市の顔となるホームページは、魅力的で、見やすく分かりやすい、更にはリアルタイムで情報の更新を行っていくことが重要である。ホームページリニューアルにより、各所属で情報の更新を行える体制を構築した。市職員全てが情報発信者となって、市民、全国、世界の方々へタイムリーな話題を提供していくことが重要である。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	足立 譲治											
	事業名	福知山PR戦略総合推進事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820134	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	平成29年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市外に対しては福知山市のイメージ向上と関係人口の拡大、市内に対してはシビック・プライド(まちへの愛着や誇り)醸成を目的に、パブリック・リレーションズの手法を活用して、各ターゲットにあったPR活動を展開し、市のメッセージを届ける。当市とその活動に対する共感や具体的な行動を起こしてもらう人々を増やし、持続可能な地域経営を目指す。					
	対象者	市民・不特定多数の人々		対象者数	-		単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	(株)井之上パブリックリレーションズ					
	事業概要	【重点/PRトピックス1】「知られざる明智光秀プロジェクト」…明智光秀主人公の2020大河ドラマを見据えた、中期的に展開するPR活動 ①クリス・ペプラーさん特別大使就任、SNS・ラジオでの情報発信 ②明智光秀イメージ調査 ③光秀活動発表 記者会見 ④プロモーション動画作成 ⑤光秀シンポジウム ⑥アサヒビール福知山城デザイン缶限定販売 ⑦福知山駅を中心とした宣伝展開 など 【トピックス2】「いがいと！福知山」…福知山のブランドメッセージを活用し市民の情報発信につなげるPR活動 ①市民PR講座 ②インスタフォトキャンペーン など 【トピックス3】「福知山の治水とまちづくり」調査・まとめ 【その他】「畜王道」「銚道・スイーツ・肉のまち福知山」プレスリリース配信などで全国メディアにアプローチ 職員PR研修 など					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		報償費	光秀シンポジウム講師謝金、治水とまちづくり監修謝金 ほか			327	
旅費		大河ドラマ協議・先進地視察 ほか			403		
需用費		のぼり、ポスター作成 ほか			1,175		
委託料		PR業務委託、JR福知山駅宣伝製作物委託 ほか			17,677		
その他経費	役務費、備品購入費 ほか			439			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当 予算	①当初	0	16,700	12,629	28,224	
	②補正予算			11,556		
	③流充用額	0	300			
	④繰越額計	0	0	0	0	
予算と執行の 状況	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	300	5,264	53	
	国支出金	0	8,350	3,852	14,043	
	府支出金	0	0	2,959		
	地方債	0	0			
その他特財	0	8,350	12,110	14,128		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0	0.75 / 0	/	0 / 0		
⑤概算人件費	0	6,000	0	0		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	23,000	24,185	28,224		
⑦執行額	0	17,000	21,200			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	100.0%	87.7%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		「明智光秀のまち福知山」都市圏の認知度(アンケート調査)	%	-	-	40.4%	/48%	63%以上
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	Instagram「いがいと福知山」投稿件数	件	-	1268(3か月)	7311	/ 8000		
	プレスリリース配信	件	/	4/4	10/10	/	-	
	メディア記事掲載件数	回	/	107/100	207/150	/	7	
	単位あたりコスト	-	4250.0	2120.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	過去にない課題に直面する福知山市が、今後も持続可能で発展性のある自治体であるためには、シティプロモーションを推進して課題を解決していくことが必要である。そしてシティプロモーション推進のためには、ステークホルダーと良好な関係を築くパブリック・リレーションズ活動が必要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	民間PR会社へ業務委託することで、PR活動のクオリティの向上、効果的なメディア掲載の成果が見込める。一定効果があったといえる。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	トピックスによって、市政記者クラブに配信する内容、PR委託事業者のネットワークを使って全国のメディアにも配信する内容を選別している。ローカルな話題は全国メディアでの掲載には結びつきにくいのが、ファーストステップとしては活動に対する認知獲得が重要なため、今後とも情報発信は積極的に行っていく。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	全国に発信する本市のブランドメッセージ「いがいと！福知山」に絡めて、特別大使の任命や、明地光秀調査などPR活動を行った。また竜王戦においても、メディアツアーを実施して知られざる福知山の魅力を発信した。また職員のPR実践力の向上のための研修の実施を行うとともに、市民対象のPR講座も実施して市民理解と情報発信力の向上を図った。		
今後の課題及び方向性	平成32年度までを、重点PR活動期間と位置づけ、戦略的なPR活動を行う。 戦略的PRとは、目的達成のために、限られた条件のなかで最大限効果を獲得するための一連の計画・活動のことをいう。たとえば、福知山には魅力的な地域資源が多くあるが、そのなかからトピックスを絞り、予算などを資源を集中させて各PR活動を立案・実行し、各PR活動を連動させるなど。 上記の考えのもと、「明智光秀ゆかりのまち福知山」を重点PRトピックスとする。 大河ドラマ放送まで9ヶ月というなかで、PR活動の質と量とスピードを高めていくことが課題である。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	足立 譲治											
	事業名	竜王戦福知山城対局事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	諸費	会計	一般会計	事業コード	820135	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成30年度											
	関連計画等	—											
	根拠法令等	—											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	シティプロモーションの視点に立った取り組みとして、トッププロ棋士による将棋タイトル戦「第31期竜王戦第4局」を福知山城で開催。本事業を通じ福知山城を全国に発信し、福知山に対する認知度やイメージの向上・定着を図る。					
	対象者	不特定多数	対象者数	—	単位あたりコスト		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	竜王戦第4局対局開催(読売新聞社) 前夜祭、子ども将棋大会、指導将棋、大盤解説会等関連イベント(福知山市)					
	事業概要	【主な日程】 8月5日、25日 将棋教室の開催 11月23日会場検分・フォトセッション、前夜祭の開催 11月24日竜王戦第1日目、子ども将棋大会、竜王アカデミーin福知山、指導将棋の開催 11月25日竜王戦第2日目、大盤解説会の開催 このほか、ふるさと納税型クラウドファンディング、勝負めし(昼食)メニュー公募、将棋グッズ販売などを行った。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		需用費	看板、ポスター、チラシ、クラウドファンディング用お礼			1,106	
委託料		前夜祭等			1,719		
負担金補助及び交付金		竜王戦主催者負担金			8,424		
その他		将棋教室棋士お礼、関係機関調整事務費			615		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初			0	
	②補正予算			12,129	
	③流充用額				
	④繰越額計			0	0
前年度繰越			0		
	次年度繰越			0	
予算と執行の状況	一般財源			853	0
	国支出金				
	府支出金			3,906	
	地方債				
	その他特財			7,370	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	/	0.89 / 0.85	/	
⑤概算人件費			9,245	0	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)			21,374	0	
⑦執行額			12,129		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)			100.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		対局中継動画視聴回数	回				1,740,000	/
	メディア獲得数	回			105	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
	市民参加将棋イベントの開催	回			5	/		
	単位あたりコスト				2425.8			
	プレスリリース配信	回			14	/		
	単位あたりコスト				866.4			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福知山城天守閣内での対局実施は福知山市でしか行えない。近年の将棋ブームや、羽生善治さんのタイトル通算100期達成なるかという話題性もあいまって、多くのメディアに掲載された。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	主催者である読売新聞社と協議を重ねるとともに、先進団体も調査しながら、参加費や事業費の積算を行った。またクラウドファンディングの実施や企業版ふるさと納税を獲得するなど財源確保を行った。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	竜王戦の開催歴史の中で、お城の本丸での将棋は歴史に残るものとなった。この点においては、福知山市や福知山城をおおいにPRできた。また次年度以降市民の活動により子ども将棋教室が開催されることが決定。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	将棋タイトル戦の竜王戦に絡めて、福知山城や福知山市を全国にPRできた。特にAbemaTVや囲碁将棋チャンネルといったインターネットテレビで将棋の他に、スイーツや勝負めし、など放送されたことにより、認知度とイメージの向上を図ることができたと考えている。	
	今後の課題及び方向性	本事業をきっかけとした福知山市の将棋文化を、行政主導ではなく、市民主導で発展させること。そういった活動が継続していくための支援も一定期間必要である。		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課					
	作成責任者	小野木 正章					
	事業名	秘書広報一般管理事業					
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 一般管理費	会計 一般会計	事業コード 820209	決算付属資料
	施策体系	施策コード 070101	施策名 時代のニーズに即応した行政経営の推進をする				
	開始年度	昭和63年度					
	終了予定年度	平成32年度					
	関連計画等	-					
	根拠法令等	-					
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()					

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市長、副市長の職務を円滑に遂行させ、市政運営の充実を図る。					
	対象者					対象者数	単位あたりコスト
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	市長、副市長の対外公務をはじめ、職員との内部協議などのスケジュールの調整、管理。 市長、副市長出張時の随行業務、来客者等への対応、市長交際費の支出事務。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	市長交際費	慶弔金 会費 等			1,079		
	旅費	市長、副市長 公務にかかる旅費			518		
	需用費	消耗品費、燃料費 等			963		
	役務費	郵送料、電話代 等			249		
	使用料及び賃借料他	複写機使用料 高速道路通行料 他			2,729		
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	5,406	5,188	7,561	7,720	
	②補正予算					
	③流充用額	473	263			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳 (①③④内訳)					
	一般財源	5,879	5,451	7,561	7,720	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	2.63/0	2.63 / 0	1.85 / 0	1.85 / 0	
⑤概算人件費		21,040	21,040	14,800	14,800	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		26,919	26,491	22,361	22,520	
⑦執行額		3,995	3,517	5,538		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		68.0%	64.5%	73.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		市長交際費公表	回	12/12	12/12	12/12	/	12
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		理事者会議	回	11/16	10/16	8/16	/	16
		単位あたりコスト		363.2	351.7	461.5		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市長、副市長の公務調整をはじめとする秘書業務は、市の施策と直結している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	可能な限り出張時の面談・訪問先を同一方面で行えるように調整し、効率的なスケジュール管理に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	公務内容の優先度をはかりながら、円滑な市政運営に努める必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	市長、副市長公務の適正な調整と管理が目的のため、公務の内容の重要度や緊急性を重視し、速やかに調整を図りながら円滑に進めていなければならない。		
	今後の課題及び方向性	多様化する市民ニーズに対応するため、公務内容の重要度や緊急性を重視し、調整を図りながら円滑にすすめていなければならない。また、理事者の政策立案、決定に費やす時間を安定的に確保していく必要がある。事務の効率的、効果的な執行が行えるよう、自治功労者他表彰事業を統合する。		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	自治功労者他表彰事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費	会計	一般会計	事業コード	820214	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	昭和63年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	福知山市自治功労者表彰条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	長く市政発展に尽くされた方々に対し、市として謝意を伝達することで市民が健全な社会づくり及び社会の発展に参画しようという雰囲気づくりを促す。										
	対象者	市民	対象者数		単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	福知山市自治功労者表彰条例に基づき、多年にわたり、本市の行政・経済・文化等に関する業務に従事し、市民の福祉に多大な貢献をした者を表彰する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		報酬	表彰審査委員謝礼							24		
記念品購入		自治功労者章 銀杯							422			
需用費		プログラム印刷、表彰状筒・紙袋購入 等							96			
役務費		表彰状筆耕料							68			
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	755	755	693	0	
	②補正予算					
	③流充用額	△ 289	△ 263			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	466	492	693	0	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.3/0	0.3 / 0	0.23 / 0	0.23 / 0	
⑤概算人件費		2,400	2,400	1,840	1,840	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		2,866	2,892	2,533	1,840	
⑦執行額		403	418	610		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		86.5%	85.0%	88.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		表彰した自治功労者・有功者等	人	11 / 10	11 / 10	18 / 10	/	10
				0	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		式典開催回数	回	1 / 1	1 / 1	1 / 1	/	1
		単位あたりコスト		403.0	418.0	610.0		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	功績の顕彰により、受賞者を称賛することは、励みとなり一層の活躍をもたらすものと考えられる。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	被表彰者の記念品等、必要最小限の支出に抑え効率性を確保している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	市民の市政への関心を高め、更なる市政の貢献に繋がる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	被表彰者を顕彰し、その功労と功績をたたえるほか、被表彰者への感謝の意を表する機会である。地方自治の振興、公共の福祉増進などに貢献しその功績が顕著である個人・団体を表彰することは、被表彰者等の更なる発展、活躍につながり、公益的活動の活性化が期待できる。		
今後の課題及び方向性	平成31年度からは効率的、効果的な執行が行えるようにするため秘書広報一般管理事業に統合する。		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 秘書広報課											
	作成責任者	小野木 正章											
	事業名	まちづくりミーティング事業											
	会計情報	款	総務費	項	総務管理費	目	文書広報費	会計	一般会計	事業コード	820215	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	010104	施策名	適切な情報の発信と共有により市民参画を促進する								
	開始年度	平成29年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	-											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民団体等と市長が意見交換し、出された提案、要望などを市政運営に反映させることで、市民参画、市民協働の行政運営機運を高める。										
	対象者	市民ほか	対象者数	240(20人×12回)	単位あたりコスト							
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	市長が市民の意見・提言等を直接聴き、市長が思いを語る場を設けて対話の中で出された意見等を市政運営の参考にする。										
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容						H30経費(見込値)				
	消耗品費、役務費	コピー用紙他						10				
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	0	38	38	38	
	②補正予算					
	③流充用額	0	4			
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越					
	次年度繰越					
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	42	38	38	
	国支出金	0	0			
	府支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他特財	0	0			
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0/0	0.25 / 0.07	0.18 / 0	0.18 / 0		
⑤概算人件費	0	2,175	1,440	1,440		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	0	2,217	1,478	1,478		
⑦執行額	0	42	10			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	-	100.0%	26.3%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		開催回数	回	-	11 / 12	7 / 12	/	12
				0	0	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		参加者数	人	-	180 / 120	79 / 120	/	120
		単位あたりコスト		-	0.2	0.1	/	
			/	/	/	0		
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の市政への参画・協働の機会として、その実施の必要性は高い。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	コストは必要最低限に抑えており効率的である。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	市民が市長と直接懇談することで、市政への関心を高めるのに有効である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		直接対話により、身近な問題の相互理解は図れるが、その場で解決できることは限られる。	
今後の課題及び方向性		各種団体等からの申し出に基づく事業実施であるため、事業趣旨の周知が必要となる。広報紙や市ホームページを活用し周知するほか、各種団体等に直接、働きかけていかなければならない。	

所見	
二次評価 (市内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】